

第1期大村市まち・ひと・しごと創生総合戦略  
(2015年度～2019年度)

2019年度進捗状況報告書

大 村 市

## 第1期大村市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況報告（2019年度）

本市の更なる発展と活力ある地域社会構築のため、「大村市人口ビジョン」で示した「2025年に人口10万人」を目指し、2015年度から2019年度までの5年間を計画期間とする「第1期大村市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を、2015年12月に策定した。

「第1期大村市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、4つの基本目標の実現に向け、6つの数値目標と30の重要業績評価指標（KPI）を掲げ、毎年、進捗状況（実績）をとりまとめており、本報告は、最終年度となる2019年度の実績を示すものである。

なお、2020年3月には、2020年度から2025年度まで6年間を計画期間とする「第2期大村市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定している。（※数値目標等は、7～8ページに掲載）

### 1 基本目標の達成状況

基本目標に掲げる計6項目の数値目標の最終年度（2019年度）における実績は、以下のとおりである。

基本目標	数値目標	基準値	目標値	実績 (2019年度)
子育てしやすいまちづくり	合計特殊出生率を、2019年度までに1.90	1.82	1.90	※1.90
魅力あるしごとづくり	創業支援塾を介した創業件数を、2019年度までに累計50件	0件	50件	74件
	新工業団地への就業者数を、2019年度までに500人	0人	500人	0人
	第1次産業の新規就業者数を、2019年度までに40人増加	7人	40人	76人
住んでみたい、訪れてみたいまちづくり	観光客延数を、2019年までに年間150万人	119万人	150万人	208万人
安全・安心で快適に暮らせるまちづくり	転入超過数を、2019年までの5か年間で3,000人増加	285人	3,000人	2,221人

※合計特殊出生率の実績については、公表されている最新の数値である2018年の率を記載している。

## 2 基本目標ごとの達成状況

### (1) 子育てしやすいまちづくり

数値目標		達成状況の説明		
基準値	実績			
合計特殊出生率を、2019年度までに 1.90		(達成状況) ・2018年は1.90となり、前年の1.81から0.09ポイント増加 【参考】国1.43、県1.70(2018年)		
1.82	1.90			
KPIの達成状況		基準値	目標値	実績 (2019年度)
1	お見合いシステム、縁結び隊による引き合わせ数(2017年度変更)	25組/年	30組/年	102組/年
2	妊婦検診受診率(2017年度変更)	88.1%	93.0%	89.2%
3	待機児童数(2017年度変更)	99人	0人	0人
4	放課後児童クラブを利用する児童数(2017年度目標値変更)	1,378人	1,870人	1,824人
5	子育て支援センターの利用者数(2017年度変更)	111,821人	142,000人	99,691人
6	小・中学校の標準学力検査結果(市内平均/全国平均値)	97.1%	100%	95.7%
7	小学校の総合的学習の時間に「ふるさと学習」が占める割合	27.0%	35.0%	54.9%
8	中学校の総合的学習の時間に「ふるさと学習」が占める割合	16.9%	25.0%	53.0%

#### [主な取組の状況]

- 「大村市婚活サポートセンター」において、お見合いシステム、縁結び隊の登録者の増に努めるとともに、サポーター出張養成講座を実施し、サポーターの増に努めた。なお、長崎県が開始した企業間交流事業についても、長崎県及び県内各市町と連携し、制度及び登録の周知を図った。
- 周産期医療支援システムを活用し、支援が必要な妊婦を早期に把握し保健指導を行うとともに、妊婦健診未受診者へ受診勧奨を行った。
- 待機児童数の解消の取組として、教育保育施設給付事業を実施し、2019年度に7施設(保育所3施設、認定こども園2施設、地域型保育事業2施設)開設があり、合計48施設となり、2020年4月1日現在で待機児童数は0人となった。
- 利用児童数の増加に対応するため、新たに2つのクラブを開設し、全体で51クラブとなった。
- 地域子育て支援センター(市内11か所)を拠点とした、子育て支援事業を実施し、様々な不安や悩みを抱えた家庭の子育てを支援した。
- 小・中学校の標準学力向上については、学習指導の指針を示したリーフレットを全教職員に配布し、各種研修会で活用することで授業改善や学力向上につなげた。また、指導主事等が学校訪問を実施し、教職員に対して学習指導法の指導を行い、指導技術の向上を図った。
- ・8 ふるさと学習については、各学校の裁量により実施している。ここ数年は目標値を大幅に超える実施となり、ふるさと学習を定着することができた。

(2) 魅力あるしごとづくり

数値目標		達成状況の説明		
基準値	実績			
創業支援塾を介した創業件数を、2019年度までに50件		(達成状況) ・2019年度累計で74件となり、前年度の56件から18件増加		
0件	74件			
新工業団地への就業者数を、2019年度までに500人		(達成状況) ・新工業団地は、2018年度3月末に完成し、2019年4月から分譲開始した		
0人	0人			
第1次産業の新規就業者数を、2019年度までに40人増加		(達成状況) ・2019年度累計で76人となり、前年度の60人から16人増加		
7人	76人			
KPIの達成状況		基準値	目標値	実績 (2019年度)
1	じげたまグランプリ出展商品数 (直前開催は2017年度、隔年開催)	17点	20点	14点
2	地域ポイント導入件数	0件	1件	0件
3	産業支援センターへの年間相談件数 (2017年度変更)	653件	720件	831件
4	大都市での物産展来場者数	未実施	6,000人	21,220人
5	市内高校卒業者の市内企業への就職率	13.9%	20%	16.5%
6	新工業団地整備箇所数	0か所	1か所	1か所
7	大村市シルバー人材センター会員数 (2017年度目標値変更)	542人	730人	757人
8	フレッシュワーク大村新規登録者の年度内就職率 (2017年度変更)	4.7%	10.0%	35.8%
9	認定農業者数 (2017年度変更)	229人	269人	215人
10	認定農業者の平均農業所得 (2017年度変更)	441万円	470万円	427万円
11	農業及び水産業イベント来場者数 (2017年度変更)	2万4千人	2万5千人	1万9千人
12	認定飲食店数 (2017年度追加)	0件	3件	4件

[主な取組の状況]

- 1 「第9回おおむらじげたまグランプリ」を開催し、受賞商品等のPR活動や販売会を行い、販売促進を図った。
- 2 地域ポイント導入については、商工会議所加盟団体や商店会連合会との意見交換会を行ったが、スマホ決済等のキャッシュレス化の普及により、地域ポイント導入の効果が低いことから、導入を見送ることとした。
- 3 産業支援センターにおいて、週2回IT専門相談支援を行うことで、リピーターが増加したが、相談件数は横ばいであった。
- 4 日本橋長崎館での物産展「おおむら Market」を8回開催し、顧客の創出を図った。
- 5 市内高等学校の進路担当者及び市内事業者を交えた意見交換を2回実施するとともに、市内の高校2年生を対象に市内企業概要説明会を1回開催した。
- 6 2019年3月末の新工業団地完成後、2019年4月から分譲を開始し、2019年6月26日に嶋本ダイカスト株式会社、2019年10月10日にマコー株式会社の立地が決定した。
- 7 大村市シルバー人材センターと連携し、ケーブルテレビによるCMを行うとともに、特に女性入会者による参加呼びかけを実施した。
- 8 有効求人倍率の上昇による就職決定者が増加したこともあり、施設の利用者が減少したことなどの理由から、県の事業規模縮小により、フレッシュワーク大村の運営は2020年3月末をもって終了し、予約制の出張相談対応に体制を変更することとなった。
- 9・10 認定農業者数は、高齢化による離農により減少した。認定農業者の発掘、育成及び所得向上のため、生産性コストの低減と労力の軽減、収量の増加と品質向上等に資する取組を行った。
- 11 「第5回おおむら海と大地の感謝祭」や「第18回牧場まつり」などのほか、各地区の直売所などで8回実施したが、最も集客が見込める「海と大地の感謝祭」において、悪天候であったため来場者が減少した。
- 12 大村産の農産物や大村湾で獲れた海産物等を東京及び大阪の飲食店へ紹介し、認定飲食店数の増加に繋げた。

### (3) 住んでみたい、訪れてみたいまちづくり

数値目標		達成状況の説明		
基準値	実績			
観光客延数を、2019年度までに150万人		(達成状況) ・2019年は208万人となり、前年の197万人から11万人増加 ※2018年から観光客延数算出方法変更		
119万人	208万人			
KPIの達成状況		基準値	目標値	実績 (2019年度)
1	市内宿泊施設の延べ宿泊者数	21万人	24万人	405,690人
2	外国人観光客宿泊者数(2017年度目標値変更)	2,100人	3,000人	7,226人
3	累計移住・定住相談件数(2017年度目標値変更)	2010年度～ 2014年度累計 33件	2015年度～累計 100件	2015年度～累計 226件
4	累計移住件数(2017年度追加)	2017年度実績 15人	2018年度～ 2019年度累計 50人	2018年度～ 2019年度累計 174人

#### [主な取組の状況]

- 1 純忠御前(大村純忠の食事を現代風にアレンジしたもの)を開発し、リーフレット制作や周遊ツアーなどを実施するとともに、着地型観光やグリーン・ツーリズムを推進し、宿泊者数増加を図った。
- 2 世界遺産と純忠の多言語版観光パンフレットを制作するとともに、外国人観光客へのガイドをサポートする通訳サポートガイドの養成やインバウンド向けコースを通訳サポートガイドの協力を得て開発するなど、外国人観光客の誘客のための取組を行った。
- 3・4 移住促進PR動画やホームページなどのコンテンツを活用した情報発信の継続実施に加え、移住コーディネーターによる寄り添い型の相談体制の充実を図った。

また、「プラットおおむら」の「暮らしコンシェルジュ」内に移住相談窓口を開設し、オンライン相談や土日の対応を可能にする等相談体制の更なる充実を図るとともに、毎月10日を「イジューの日」として、「移住相談会」を開催し、移住相談及び家族からのUターンの相談、移住後の相談等幅広く対応した。

#### (4) 安全・安心で快適に暮らせるまちづくり

数値目標		達成状況の説明		
基準値	実績			
転入超過数を、2019年までの5か年間で3,000人増加		(達成状況) ・2019年累計で2,221人の増加となり、前年の1,606人から615人増加		
285人	2,221人			
KPIの達成状況		基準値	目標値	実績 (2019年度)
1	道路や公共交通の利用に関する市民満足度	49.7%	60%	42.9%
2	中心市街地歩行者通行量	10,355人	11,000人	6,264人
3	「道の駅 長崎街道鈴田峠」の年間利用者数	0人	30万人	225,629人
4	大学との累計連携協定数	0件	3件	4件
5	自主防災組織の結成率	50%	75%	56.1%
6	中・重度要介護認定者の割合	34.8%	25.1%	30.7%

#### [主な取組の状況]

- 1 新幹線開業に向け策定した「大村市新幹線開業アクションプラン」に基づく官民一体となった事業の展開や、公共交通の再編に向け、2020年から2024年度の5年間で計画期間とした「大村市地域公共交通再編実施計画」を策定した。
- 2 2019年4月にプラットおおむら、2019年10月にミライオンが開館し、これらの施設に加え大村市中央商店会と連携した中心市街地活性化に取り組んだ。
- 3 道の駅「長崎街道鈴田峠」は、スイーツカフェを設置し市内外の観光客の交流拠点となるような運営に努めた。また、デジタルサイネージを活用した、観光・イベント情報の積極的な発信や、九州・沖縄の道の駅パンフレットを展示するなど魅力ある施設づくりに努めた。
- 4 大学との連携協定については、長崎大学、活水女子大学、長崎ウエスレヤン大学及び長崎国際大学と包括連携協定を締結している。
- 5 行政委員総会や地区別ミーティング等を通じて未組織町内会へ結成依頼を行い、新たに4組織を結成した。
- 6 「地域包括ケアシステム推進基本計画」、「第7期介護保険事業計画」に基づき、全6中学校区で地域ケア圏域会議を開催し、課題の抽出及び整理を行った。  
また、地域包括ケアシステムの拠点施設として、「プラットおおむら」に本格整備した。

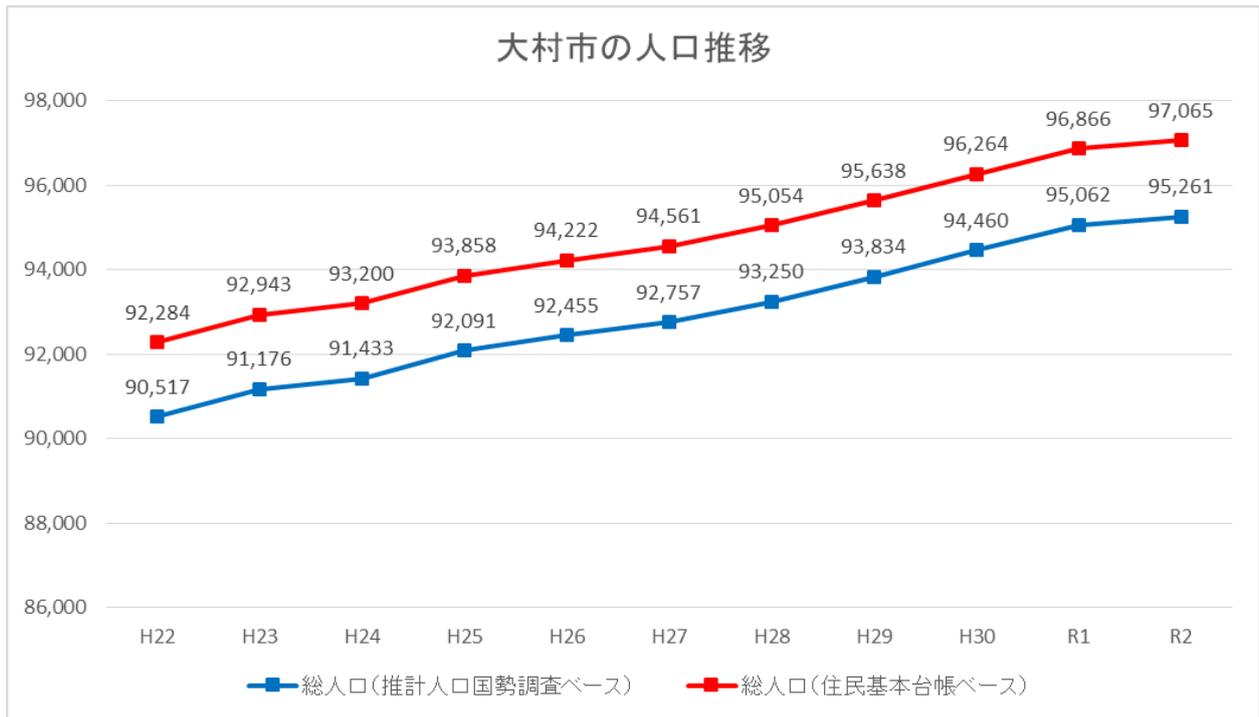
<参考1> 第2期大村市まち・ひと・しごと創生総合戦略(2020年度から2025年度)  
数値目標・重要業績評価指標(KPI)一覧

基本目標	数値目標・KPI	数値目標及びKPI年次計画値					
		2020年度 (令和2年度)	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)
1 結婚・出産・子育ての希望をかなえるまちづくり	合計特殊出生率:2025年までに2.00(2017年:1.81)	1.90	1.92	1.94	1.96	1.98	2.00
	●お見合いシステム、縁結び隊による引き合わせ数 各年度120組(2018年度:98組)	120	120	120	120	120	120
	●妊婦健診受診率 2025年度までに97.0%(2018年度:95.9%)	95.4	95.7	96.0	96.3	96.6	97.0
	●待機児童数 2025年度までに0人(2018年度:70人)	0	0	0	0	0	0
	●放課後児童クラブを利用する児童数 2025年度までに2,317人(2018年度:1,746人)	2,241	2,261	2,285	2,299	2,317	2,317
	●子育て支援センターの利用者数 2025年度までに142,000人(2018年度:113,468人)	142,000	142,000	142,000	142,000	142,000	142,000
	●全国学力・学習状況調査平均正答率の全国比(全国を100とした値) 2025年度までに100以上(2019年度:中国97.0、中数97.8、中英93.8、小国93.8、小算94.5)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	●小学校の総合的学習の時間に「ふるさと教育」が占める割合 2025年度までに35%(2018年度:48.7%)	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0
	●中学校の総合的学習の時間に「ふるさと教育」が占める割合 2025年度までに25%(2018年度:37.2%)	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0
2 安心して働けるまちづくり	創業支援塾を介した創業件数:2025年度までに累計100件(2018年度:56件)	75	80	85	90	95	100
	新工業団地への就業者数:2025年度までに1,000人(※2019年4月分譲開始)	500	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
	農林水産業の新規就業者数:各年度16人増加(2018年度:16人)	16	16	16	16	16	16
	●じげたまグランプリ(隔年開催) 出展商品数 2025年度までに20点/年(2019年度:14点/年)	14	16	16	18	18	20
	●産業支援センターへの年間相談件数 2025年度までに年間900件(2018年度:853件)	900	900	900	900	900	900
	●大都市での物産展来場者数 2025年度までに30,000人(2018年度:30,106人)	24,500	25,500	26,500	27,500	28,500	30,000
	●市内高校卒業者の市内企業への就職率 2025年度までに14%(2018年度:13.1%)	13.1	13.2	13.4	13.6	13.8	14.0
	●新工業団地売却区画数 2025年度までに4区画(2019年度:1区画)	2	4	4	4	4	4
	●大村市シルバー人材センター会員数 2025年度までに900人(2018年度:732人)	750	780	811	843	876	900
	●認定農業者数 2025年度までに300人(2018年度:223人)	255	267	280	287	294	300
	●認定農業者の平均農業所得 2025年度までに520万円(2018年度:435万円)	460	472	484	496	508	520
	●農業及び水産業イベント来場者数 2025年度までに2万8千人(2018年度:2万7千人)	27,000	27,250	27,500	27,700	27,850	28,000
●市産品応援店数 2025年度までに10件(2018年度:0件)	5	6	7	8	9	10	

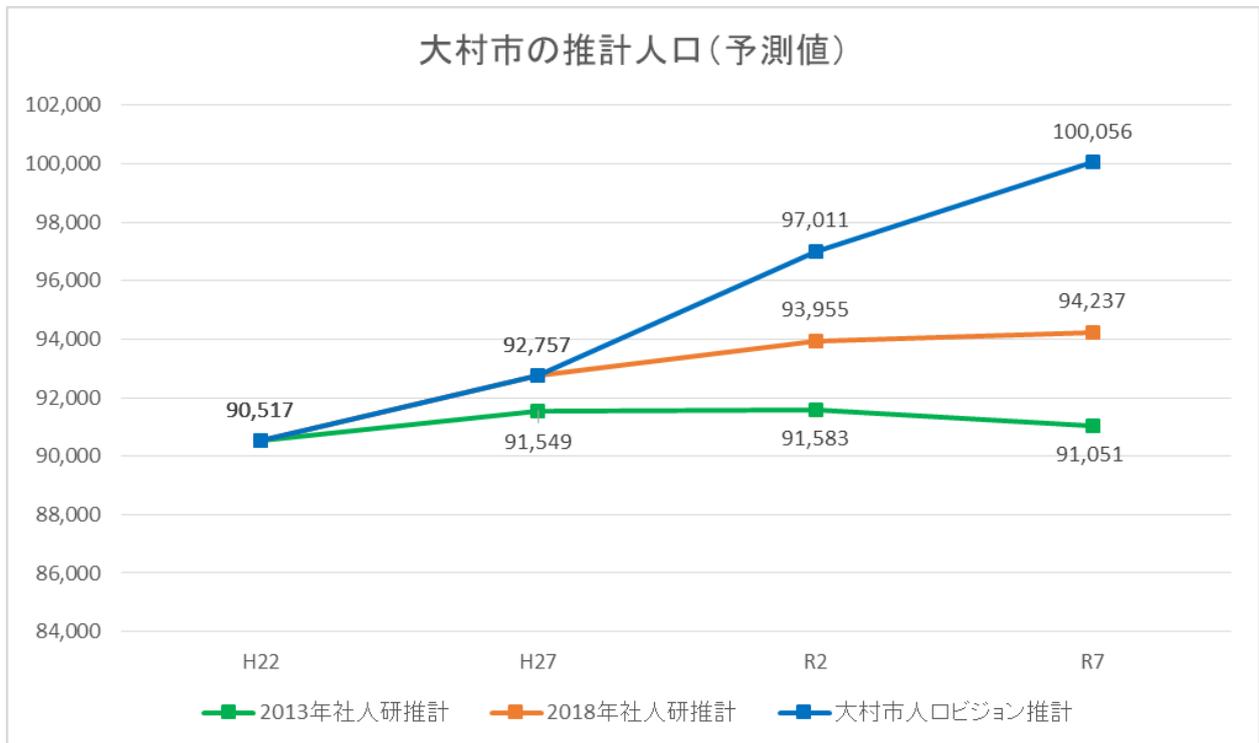
基本目標	数値目標・KPI	数値目標及びKPI年次計画値					
		2020年度 (令和2年度)	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)
3 住んでみたいまちづくり、訪れてみたい	観光客延数:2025年までに260万人(2018年:197万人)	2,100,000	2,177,000	2,283,000	2,388,000	2,494,000	2,600,000
	●市内宿泊施設の延べ宿泊者数 2025年までに45万人(2018年:379,939万人)	391,000	403,000	415,000	437,000	439,000	450,000
	●外国人観光客宿泊者数 2025年までに5,000人(2018年:2,257人)	2,710	3,180	3,650	4,080	4,540	5,000
	●移住・定住相談件数 各年度120件(2018年度:63件)	120	120	120	120	120	120
	●移住件数(大村市及びながさき移住サポートセンターを介した移住件数) 各年度36件(2018年度:34件)	36	36	36	36	36	36
4 ひとが集う、魅力的なまちづくり	転入超過数:2025年までの6か年間で5,000人増加(2018年:2014年から1,606人増加)	500	1,000	2,000	3,000	4,000	5,000
	●道路や公共交通の利用に関する市民満足度 2025年度までに50%(2018年度:39.2%)	40.0	42.0	44.0	46.0	48.0	50.0
	●中心市街地歩行者通行量 2025年度までに11,000人/日(2018年度:6,915人/日)	7,000	7,500	8,000	9,000	10,000	11,000
	●「道の駅 長崎街道鈴田峠」の年間利用者数 2025年度までに25万人(2018年度:234,552人)	246,000	246,800	247,600	248,400	249,200	250,000
	●大学等との連携協定数 2025年度までに5件(2018年度:4件)	4	4	4	4	4	5
	●自主防災組織の結成率 2025年度までに60%(2018年度:54.7%)	56.5	57.2	57.9	58.6	59.3	60.0
	●中・重度要介護認定者の割合 2025年度までに29.0%(2018年度:30.0%)	30.0	30.0	30.0	29.5	29.5	29.0

※  は数値目標、●はKPI

<参考 2> 大村市の人口推移及び推計人口(予測値)



※H22～R1 の人口は 10 月 1 日現在、R2 年の人口は 8 月 1 日現在



※人口は 10 月 1 日現在

